

入選

別府へ二人旅

大分県 春日町小学校

三年 月村 天洋

去年の夏、ぼくはいとこのたまきくんのために、ある計画を立てました。それは、二人で別府まで旅をすることです。

たまきくんは、毎日保育園に通っていて夏休みがありません。そこで、おじさんにたまきくんに夏の思い出を作ってあげたいとおねがいをすると、少しこまった顔をしていただけど、

「ちゃんと計画をたててくれるならばいいよ。」と言ってくれました。

本当のことをいうと、ぼくは今まで一人で電車に乗ったことはありませんでした。いつも家族といっしょでした。でも、ようち園の年長のときに、電車で「上人ヶ浜公園」まで行ったことがあります。そのけいけんがあれば、だいじょうぶだと思っていたけれど、一人だと正直不安でした。

そこで、お兄ちゃんに、いっしょに下見につきあってくれるようおねがいました。お兄ちゃんは、きつぷの買い方、お金、何時の電車に乗るのか、何番ホームで乗るのかを教えてくださいました。ぼくは、ノートにいっぱい、メモをとりました。

別府に着いたら、休める場所があるか、トイレはどこか、お土産はどこに売っているかなどを調べて、ノートに書きました。たまきくんがすきなジュースが、自動はんばいきにあるかもかくにんしました。大分行き電車の乗り方も、ちゃんとおぼえて家に帰りました。

次の日、今度はぼく一人で別府まで行ってみました。不安でドキドキしていたけれど、何度も何度もノートでふく習していたので、一人で電車にのることができました。これで明日、たまきくんといっしょに旅ができると自信がついて、ドキドキ、ワクワクしてきました。

とうとう、たまきくんと別府に行く日がきました。大分駅まで、自転車で行くよていだったけれど、あぶないのでバスで行くことになりました。バスの乗り方は、お兄ちゃんに教わっていません。

たまきくんを不安がらせないように、ぼくはゆうきを出して、「大分駅まで行きますか？」と聞きました。バスは大分駅に行くことがわかり、先にたまきくんを乗せました。ぼくは、ほっと一安心しました。

大分駅に着くと、メモをかくにんしながら、きつぷを買って電車に乗りました。たまきくんは不安そうだったけれど、「だいじょうぶだよ」と声をかけたり、歌ったりしました。たまきくんがわらってくれたので、うれしかったです。

別府に着くと、たまきくんがトイレに行きたがったので、すぐにつれていきました。つかれていたの、休けいするところで、たまきくんのだいすきなジュースを買って飲ませました。そして二人で、おじさんのおみやげをえらびました。すると、たまきくんがぼくに絵はがきのおみやげを買ってくれました。大切な記ねんになりました。

家につくまでドキドキしていたけれど、ぶじについて本当に安心しました。「また行こうね」と言ってくれたので、さいこうの旅をプレゼントできてよかったなと思いました。